



2020年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月10日

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4996 URL https://www.kumiai-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池好智
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務人事部長 (氏名) 吉村 巧 (TEL) 03-3822-5036
 四半期報告書提出予定日 2020年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年10月期第3四半期の連結業績(2019年11月1日～2020年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第3四半期	79,554	0.2	5,815	△6.9	6,614	△12.1	4,542	△18.1
2019年10月期第3四半期	79,412	6.5	6,248	23.8	7,527	13.8	5,547	4.6

(注) 包括利益 2020年10月期第3四半期 4,170百万円(10.8%) 2019年10月期第3四半期 3,764百万円(146.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年10月期第3四半期	円 銭 36.32	円 銭 —
2019年10月期第3四半期	44.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年10月期第3四半期	百万円 153,275	百万円 101,836	% 62.9
2019年10月期	142,660	99,260	65.9

(参考) 自己資本 2020年10月期第3四半期 96,339百万円 2019年10月期 93,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年10月期	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 11.00
2020年10月期	—	4.00	—	—	—
2020年10月期(予想)	—	—	—	7.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	9.3	8,000	4.7	9,800	0.7	6,800	0.2	54.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年10月期3Q	133,184,612株	2019年10月期	133,184,612株
② 期末自己株式数	2020年10月期3Q	8,135,440株	2019年10月期	7,934,971株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年10月期3Q	125,071,936株	2019年10月期3Q	125,258,951株

(注) 2019年12月13日開催の取締役会決議に基づき、子会社が所有する当社普通株式を取得したこと等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が200,469株増加しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行（パンデミック）による世界経済への深刻な影響が続いている中、徐々に経済活動が再開されつつありますが、米中間の通商問題等の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、わが国経済においても、新型コロナウイルス感染症拡大により大きく影響を受けていた経済・社会活動は再開されつつあるものの、感染症対策の実施により経済活動が一定の制約を受け続ける等、今後も予断を許さない状況が続くとみられています。

このような情勢の下、当社は本年が最終年度にあたる中期経営計画「Create the Future」の仕上げに向けて、各事業における課題の達成に取り組んでおります。

売上高は、水稲用除草剤「エフィーダ剤」が伸張したこと、及びインドの子会社であるPI Kumiai Private Ltd. での水稲用除草剤「ノミニー」の販売が本格化したことにより、一部化成品の販売が減少したものの、79,554百万円、前年同期比143百万円(0.2%)の増加となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したことにより5,815百万円、前年同期比433百万円(6.9%)の減少となりました。経常利益は、為替差損が増加したことにより、6,614百万円、前年同期比913百万円(12.1%)の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,542百万円、前年同期比1,005百万円(18.1%)の減少となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における海外向け売上高の割合は40.5%となりました。

セグメントの概況につきましては以下のとおりです。

セグメント	2019年10月期 第3四半期			2020年10月期 第3四半期			前年同期比	
	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高 (増減率 %)	営業利益 (増減率 %)
農薬及び 農業関連事業	百万円 56,846	% 71.6	百万円 5,550	百万円 58,579	% 73.6	百万円 5,411	百万円 1,733 (3.0)	百万円 △140 (△2.5)
化成品事業	15,759	19.8	1,185	14,409	18.1	858	△1,350 (△8.6)	△327 (△27.6)
その他	6,806	8.6	548	6,566	8.3	571	△240 (△3.5)	24 (4.3)
計	79,412	100.0	6,248	79,554	100.0	5,815	143 (0.2)	△433 (△6.9)

(注) 1. 前第3四半期連結累計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)1,035百万円が含まれております。

2. 当第3四半期連結累計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)1,025百万円が含まれております。

① 農薬及び農業関連事業

国内販売部門は、「エフィーダ剤」の普及拡販に努めたことにより、水稲用除草剤分野が大きく伸張した結果、前年同期を上回りました。

特販部門は、自社原体の販売において「エフィーダ」の販売が好調であったこと、更に前連結会

計年度に譲受した「ベンスルフロンメチル」の売上が新たに加わったことなどにより、前年同期を上回りました。

海外販売部門は、豪州、アルゼンチン向け畑作用除草剤「アクシーブ剤」の出荷が順調に推移し、インド子会社による水稲用除草剤「ノミニー」の販売が本格化したため、欧州での殺菌剤、植物成長調整剤の在庫調整による出荷減等があったものの、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、農薬及び農業関連事業の売上高は58,579百万円、前年同期比1,733百万円(3.0%)の増加となりました。営業利益は5,411百万円、前年同期比140百万円(2.5%)の減少となりました。

② 化成品事業

塩素化事業は、アラミド繊維や高機能樹脂等の原料向けクロロキシレン系化学品が、新型コロナウイルス感染症拡大で自動車関連産業の需要の落込みが続いており、販売減となりました。

精密化学品事業は、電子材料や高耐熱樹脂原料向けビスマレイミド類が堅調に推移しました。

産業用薬品事業は、水処理剤、防腐剤等の受注が好調に推移しました。

発泡スチロール事業は、家電メーカーの生産調整や漁獲量の減少により、低調な販売状況となりました。

以上の結果、化成品事業の売上高は14,409百万円、前年同期比1,350百万円(8.6%)の減少となりました。営業利益は858百万円、前年同期比327百万円(27.6%)の減少となりました。

③ その他

その他の主な事業内容は、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等であります。

賃貸事業、発電及び売電事業は、前年同期並みに推移しました。建設業では、土木緑化関連が低調で前年同期を下回りました。印刷事業は、前年同期を下回りました。物流事業は、需要増等により売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、その他全体の売上高は6,566百万円、前年同期比240百万円(3.5%)の減少となりました。営業利益は571百万円、前年同期比24百万円(4.3%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は153,275百万円で、前連結会計年度末に比べ10,616百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金、売上債権、たな卸資産ならびに建設仮勘定が増加したことによるものです。

負債は51,439百万円で、前連結会計年度末に比べ8,039百万円の増加となりました。これは主に短期借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金、未払金ならびに未払法人税等が減少したことによるものです。

純資産は101,836百万円、自己資本比率は62.9%、1株当たり純資産は770円41銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の連結業績予想は、2019年10月期の決算発表時(2019年12月13日)の業績予想から変更はありません。

現状、新型コロナウイルス感染症の影響については、感染状況の収束の見通しが不透明でありませんが、2021年には経済状況は改善に向かうと仮定しております。

当社の連結業績予想に対する新型コロナウイルス感染症に関連する影響は限定的と考えており、今後公表すべき事実が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,354	17,039
受取手形及び売掛金	26,623	29,387
有価証券	30	—
商品及び製品	23,040	24,848
仕掛品	9,032	11,143
原材料及び貯蔵品	6,147	6,334
その他	1,840	1,060
貸倒引当金	△63	△88
流動資産合計	82,003	89,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,394	10,326
機械装置及び運搬具(純額)	7,291	7,148
土地	12,103	12,084
建設仮勘定	727	2,800
その他(純額)	1,446	1,502
有形固定資産合計	31,961	33,859
無形固定資産		
のれん	4,268	3,864
その他	1,043	1,365
無形固定資産合計	5,310	5,229
投資その他の資産		
投資有価証券	20,783	21,631
長期貸付金	11	310
繰延税金資産	797	846
退職給付に係る資産	156	110
その他	1,772	1,699
貸倒引当金	△133	△131
投資その他の資産合計	23,385	24,465
固定資産合計	60,657	63,553
資産合計	142,660	153,275

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,175	11,275
短期借入金	12,747	26,309
未払金	4,271	2,919
未払法人税等	3,129	330
賞与引当金	1,463	746
その他	796	782
流動負債合計	35,581	42,361
固定負債		
長期借入金	311	1,193
繰延税金負債	2,168	2,443
役員退職慰労引当金	618	615
退職給付に係る負債	4,263	4,294
資産除去債務	39	40
その他	419	493
固定負債合計	7,818	9,078
負債合計	43,400	51,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	37,137	37,081
利益剰余金	60,196	63,238
自己株式	△5,268	△5,373
株主資本合計	96,600	99,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	833	1,494
為替換算調整勘定	△3,339	△4,538
退職給付に係る調整累計額	△117	△97
その他の包括利益累計額合計	△2,623	△3,141
非支配株主持分	5,283	5,497
純資産合計	99,260	101,836
負債純資産合計	142,660	153,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
売上高	79,412	79,554
売上原価	59,620	59,737
売上総利益	19,792	19,817
販売費及び一般管理費	13,544	14,002
営業利益	6,248	5,815
営業外収益		
受取利息	39	17
受取配当金	202	177
持分法による投資利益	1,352	1,374
貸倒引当金戻入額	10	4
その他	111	129
営業外収益合計	1,715	1,700
営業外費用		
支払利息	26	101
売上割引	36	1
為替差損	233	773
支払手数料	119	—
その他	22	27
営業外費用合計	436	902
経常利益	7,527	6,614
特別利益		
固定資産処分益	144	23
投資有価証券売却益	—	4
受取保険金	217	16
特別利益合計	362	43
特別損失		
固定資産処分損	89	175
投資有価証券評価損	—	17
ゴルフ会員権評価損	0	0
支払補償費	23	24
災害による損失	46	4
事務所移転費用	10	—
特別損失合計	168	221
税金等調整前四半期純利益	7,721	6,437
法人税等	1,932	1,715
四半期純利益	5,789	4,722
非支配株主に帰属する四半期純利益	242	179
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,547	4,542

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益	5,789	4,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	657
為替換算調整勘定	△47	△261
退職給付に係る調整額	21	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,860	△967
その他の包括利益合計	△2,025	△552
四半期包括利益	3,764	4,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,519	4,025
非支配株主に係る四半期包括利益	245	145

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	56,846	15,759	72,606	6,806	79,412	—	79,412
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	24	24	2,308	2,332	△2,332	—
計	56,846	15,784	72,630	9,114	81,744	△2,332	79,412
セグメント利益	5,550	1,185	6,736	548	7,283	△1,035	6,248

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,035百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	58,579	14,409	72,989	6,566	79,554	—	79,554
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	43	43	2,853	2,896	△2,896	—
計	58,579	14,452	73,032	9,419	82,451	△2,896	79,554
セグメント利益	5,411	858	6,269	571	6,840	△1,025	5,815

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,025百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。